

第1号様式(第7条関係)

平成31年4月1日

稲城市議会議長
北浜 けんいち 殿

会派名 起風会
経理責任者 中田 中

稲城市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

第2号様式(第7条関係)

平成30年度政務活動費収支報告書

会派名 起風会

1 収入

政務活動費 600,000円

2 支出

(単位 円)

| 科 目 | 金 額 | 主たる支出の内訳 |
|--------|----------|---------------------|
| 研究研修費 | 159,402円 | セミナー受講、全国都市問題会議参加 |
| 調査費 | 720円 | 行政視察 |
| 資料作成費 | 0円 | |
| 資料購入費 | 93,542円 | 書籍、日本教育新聞、Dfile購読料等 |
| 広報費 | 274,047円 | 会派活動報告印刷折込費用 |
| 広聴費 | 0円 | |
| 通信費 | 60,000円 | 25,000円×12ヶ月×2名 |
| 事務費 | 12,501円 | プリンターリース、コピー代 |
| その他の経費 | 0円 | |
| 合 計 | 600,412円 | |

3 残 額

0 円

| | | | | | | |
|----|-----|------|----|----|----|----|
| 議長 | 副議長 | 学務局長 | 次長 | 係長 | 係長 | 係長 |
| | | | | | | |

会 派 出 張 終 了 報 告 書

| | |
|------------------------|--|
| 出張期日 | 平成30年4月3日(火) |
| 出張先 | 地方議員研究会 復興・防災特別講座in東京 (会場:TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター) |
| 研究研修・ 調査課題等 | <p>「陸前高田市における復興の現状と課題」 講師:久保田崇(立命館大学教授・元陸前高田市副市長)</p> <hr/> <p>「教訓を活かした防災まちづくり」 講師:久保田崇(立命館大学教授・元陸前高田市副市長)</p> |
| 終 了 報 告 | <p>「陸前高田市における復興の現状と課題」</p> <p>1. 被災状況と復興の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副市長就任の経緯 5/26陸前高田市にボランティアに訪れた際、市長から支援要請を受ける8/1より内閣府から副市長として出向し、以後4年間副市長を勤める引き受ける決めては戸羽市長の力になりたいと思ったから ・陸前高田市の概要 奇跡の一本松、被災地の中でも被害の大きい自治体 人口2.4万人中、死者1771人(7%)←被災地でも最大級 市職員は295人中68人死亡(25%)←避難誘導に向かった若手に被害多い 震災前ハザードマップでは市役所の津波高は2Fだったが、4F膝上が来た ・仮設住宅 H28.3末現在でピーク時の28%程度(被災地全体15%より高い) 立地は学校校庭がほとんど。当初予定(2年)より長期化したため、学校活動に支障が出ている状況。H27年度より徐々に集約し学校に返却し始めた被災地全体では仮設住宅は供与終了の動きだが、陸前高田市を含む被害の大きい自治体は特定延長 ・高台移転 市が丘を整地して宅地を確保、住民は市に元の土地を買取ってもらいその宅地に住宅を建設。補助はあるが自己負担も大きい(二重ローン等) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・復興住宅←いわゆる公団住宅 ローンを組めない方向けの集合住宅。高齢者や低所得者の利用多い ・商業施設・公共施設 昨年8月に図書館と商店を併設した複合施設が、かさ上げ後の中心市街にオープン。復興後は中心市街地を集約しコンパクトシティを目指す ・震災遺構 残すか否かは難しい問題。陸前高田市では多くの職員が無くなった市庁舎は遺族の気持ちを優先し取り壊した。多くの被災地で判断が分かれる難しい問題 <p>2. 副市長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市政全体への目配りと担当の決まらない案件の推進 市長ビジョン(ノーマライゼーション不要のまちづくり)の推進、海外からの支援対応、観光戦略、SNS・メディアへの対応など ・地元民ではないことが、第三者的な立場で課題を把握し、外部からの支援のマッチングや外部への情報発信を行うのに有効であった <p>3. 議会・議員の非常事態対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸前高田市でも議員2名が無くなった ・安否確認の手順、第二の参集場所の設定、議会としての災対会議の設置等を検討しておくべき ・議員は地域を熟知しているので地域情報を集め行政につなぐ役割を果たすべきと考える。ただし議員個人で動くのではなく議会としての意思統一・課題整理・優先順位付けなどは必要 |

| | |
|-----|--|
| | <p>「教訓を活かした防災まちづくり」</p> <p>1. 陸前高田市の震災対応検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全なはずの指定避難所に逃げて家族が亡くなった方がいた →避難所設置経緯を丁寧に報告書に記載 6つの反省と教訓 <ul style="list-style-type: none"> ①(津波には)何よりも避難が重要 死者の4割が避難していない(津波到達前に逃げた人は5割) ②避難所に逃げたら終わりではない(9か所で約400人死亡) 「二度逃げ」できる場所を避難所に指定 ③公的役割を持つ人の安全確保(市職員111人、消防団51人など) 命をかけてまでやる役割は無い、津波到達前に活動終了を明記 ④災害に強い安全なまちづくり(インフラ整備、高台移転) ⑤社会的弱者が逃げ遅れないような社会(要配慮者へのサポート) ⑥防災の心得の徹底(自らの命は自ら守る、津波てんでんこ) <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 避難勧告/指示の発令基準を見直す 「空振りを恐れず避難」とガイドラインを変更→数・頻度高まる 軽微な災害であっても訓練のつもりで取り組む 避難させるのは行政の役割なのか→やらざるを得ない考える 地域防災計画を定めるだけでは不十分 毎年見直し検討が法律で定められている 避難マニュアル、避難所運営マニュアル、初動対応マニュアルを作成 防災協定を締結 防災関係職員の育成・体制整備 防災専従の職員数を確認。兼任が多いので少ない場合は拡充を提案 <p>2. 具体的な質問例</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難勧告を出すタイミングの適切性 避難所の数・場所の適切性(見直しの必要性はないか?) 災害対策本部の第二の設置場所の検討 地域防災計画の独自制定部分の確認(どこまで掘り下げているか?) 避難行動を促す必要性(死者4割が非難せず、生者8割は津波前に避難) |
| 参加者 | 中田 中 |
| 氏名 | |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 4月 5日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会 会派出張会計報告

視察先 東京都中央区 4/3 ~ /

| | | | |
|-----------------|--------|-----|--------------|
| 1. 運賃 (航空賃) | | | |
| 若葉台 | ⇒ 東京駅 | 円 × | 1人 = 513 円 ✓ |
| 東京 | ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = 513 円 ✓ |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| 2. タクシー (レンタカー) | | | |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| 3. 宿泊料 | | | |
| | | 円 × | 人 = 円 |
| 4. 土産代 | | | |
| | | | 円 |
| 5. 写真代 | | | |
| | | | 円 |
| 6. その他 (振込手数料等) | | | |
| | 参加費 | | 30,000 円 |
| 合 計 | | | 31,026 円 ✓ |

以上のとおり報告します

平成 30年 4月 4日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 研究研修費

A-1

(領収書等貼付面)

領 収 証

起風会 中田 中 様 30 年 4 月 3 日

★

¥30,000

但 4/3

「復興・防災特別講座 in東京」

2講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-2

使途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
 カード番号: [REDACTED]
 残額履歴 (最新 20件)
 月別 種別 利用駅 種別 利用駅 残額

| | | | | | | |
|------|---|------|---|------|-------|-----|
| 0403 | 入 | 若葉台 | 出 | 京王新宿 | *2172 | 319 |
| 0403 | 入 | 新宿 | 出 | 東京 | *1918 | 194 |
| 0403 | 入 | 東京 | 出 | 新宿 | *1724 | 194 |
| 0403 | 入 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | *1405 | 319 |

18.04.03 17:59 若葉台駅 子401発行
 ・毎度ありがとうございます
 (1/1) 京王電鉄株式会社

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

| | | | | | |
|-----|------|----|----|----|---|
| 副議長 | 事務局長 | 次長 | 係長 | 係長 | 係 |
| | | | | | |

会 派 出 張 終 了 報 告 書

| | |
|----------------|--|
| 出張期日 | 平成30年5月9日(水) |
| 出張先 | Japan IT Week 春(東京ビッグサイト) |
| 研究研修・ 調査課題等 | <p>「IoT応用事例」ソラコム社長 玉川憲、コマツ取締役 黒本和憲、シーメンス専務 島田太郎</p> <p>「第一人者が解説！最新セキュリティ動向」Microsoft Sr. Director PattiChrzan、ラック社長 西本逸郎</p> |
| 終了報告 | <p>「IoT応用事例」</p> <p>1. ソラコム</p> <ul style="list-style-type: none"> IoTのモノーInternet間サービスはまだまだ課題が多い →2015.9 モノ向けサービス立上げ→2017 海外展開 IoTアプリをより簡単かつセキュアに構築できる仕組みを提供 お客様事例(車、建機、スマートホーム、工場など様々な事例あり) 九州西鉄バススマートバス実証実験 パルコ/ハタプローAIで顧客にレストランメニュー提供 北見工業大一川の氷のトラッキング オープンハウスー営業車両の稼働率の分析 協同ファームー豚舎モニタリングシステム(半分の数で豚を飼育) IT工房Zースマート農業「あぐりログ」構築 富士急行ーインバウンド向けのWeChatPay端末 桜ジャパンー高齢施設の見守り IoTプロジェクトの難しさ <ul style="list-style-type: none"> ①技術的な難易度が高い、複雑なシステムが必要 ②しばしばビジネスモデルの変化・再構築を伴う IoT事業創成の3ステップ <ul style="list-style-type: none"> ①PoC(プルーフOfコンセプト) スモールスタートで有効性を検証 ②サービス開発 スケーラブルなシステムとするためクラウド利用が必須 ③事業化 既存システム連携・管理などがカギ ソラコムのプラットフォーム戦略 顧客のニーズに合わせたサービスを安価に提供、グローバル展開 新テクノロジーをすぐに使える形で提供、エコシステムを重視 <p>2. コマツ</p> <ul style="list-style-type: none"> マネジメント編→モノづくり編→ブランドマネジメント編(今ここ) コマツでない困る、という顧客に対し存在理由を高めることに注力 ダントツな開発を継続しつつも顧客の側に入り込み顧客価値向上に貢献 ソリューションを提供する <p>3. シーメンス</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の課題(GDP、生産性の低迷)は標準化・デジタル化で解決する →ドイツ的な考え方では、何をやるか・どう効率化するかがキモ シーメンスの戦略 設計と製造プラットフォームの連携・一体化 デジタルTwinー製造前に工程のシミュレーション・調整が可能 3Dプリンティングの活用ー設計のやり方を根本的に変えないと無意味 今後のIoT技術は専用技術(例i-mode)から汎用技術(例iPhone)へ シーメンスは産業のOS(オペレーションシステム)を目指す →シーメンスのCloudはAWS(AmazonWebService)上に構築 |

「第一人者が解説！最新セキュリティ動向」

1. Microsoft

- サイバーセキュリティのトピック
ランサムウェアの脅威増大—増加率750%
サイバー犯罪からサイバー戦争へ
ダークWebで攻撃方法・サービスを購入できる→素人でも攻撃者になれる
国（中国？北朝鮮？）によるサイバー攻撃
- 求められる対応
サイバー犯罪への法整備が必要（海外からの攻撃者の取締ができない）
公的機関・民間企業の幅広いパートナーシップが必要

2. ラック

- セキュリティ対策＝個人情報漏えい対策と考える人が多い
- 他社や顧客の情報を漏えいしてしまうと、当該企業は懲罰的試練を受ける
→企業の生き残りにはやらざるを得ない
- 2017.6 マルウェアNotPetyaの被害
会計ソフトウェアから侵入し、管理者権限を乗っ取り組織内拡散
ランサムウェアを装うが、偽装であり破壊目的

ランサムウェアの類型

- ①純然たるビジネス
- ②スパイの隠れ蓑（証拠隠滅）←盗まれたことに気づかせない
- ③破壊目的の隠れ蓑 ←これが新しい動き
- ④その他
- 破壊対象は、①データや機能、②プロセスやオペレーション から、
③装置や設備、④社会インフラサービス まで広範囲に及ぶ
→業務・人へのインパクトを評価して対策の必要性を検討すべき
（扱うデータの価値積算からは本質は見えてこない）
→現在の業務はIT基板上に構築されているので、機密漏えいも大事だが
IT基盤喪失の方がインパクトが大きい
- IT基盤喪失への対策
①喪失しない対策、②喪失しても大丈夫な対策
③完全喪失しにくい対策 ←こっちが現実的

仮想通貨

- IT業界はFinTechのスタートアップと思っていた
→金融庁は”金融機関”として扱うようになった
取扱資産激変を事前予測して対策をとることは不可能
中国など禁止に動く国が多い中、日本は法整備を進めようとしてる
→これはビジネスチャンスではないのか？
- Society5.0（デジタルトランスフォーメーション）
中国のデジタル化（電子決裁、シェアサービス）はすごい
- 最近の傾向
金銭目的系は仮想通貨がブーム
スパイ系は中国・北朝鮮などが継続的に動いている
スパイは指先ひとつで破壊者になるので注意が必要
既に侵入済みだと考えるべき
- これまではC（機密性）I（完全性）A（可用性）のうち、Cのみを意識
昨今はIT基盤喪失の対策が必須となり、AICの順番となる

参加者
氏名

中田 中

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 5月 14日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都江東区

5/9 ~

1. 運賃 (航空賃)

| | | | | |
|--------|----------|-----|------|---------|
| 若葉台駅 | ⇒ 国際展示場駅 | 円 × | 1人 = | 771 円 ※ |
| 国際展示場駅 | ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = | 771 円 ※ |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |

2. タクシー (レンタカー)

| | | | |
|---|-----|-----|---|
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 円

合 計 1,542 円

※交通費は自己負担とするため、政務活動費は使用しません。

以上のとおり報告します

平成 30年 5月 14日

会計責任者 中田 中

| | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 経 | 理 | 副 | 学 | 人 | 保 | 保 | 保 |
| | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | |

会 派 出 張 了 報 告 書

| | |
|----------------|--|
| 出張期日 | 平成30年5月10日(木) |
| 出張先 | 2018年度 日本自治創造学会 研究大会「人生100年時代の地域デザイン」～人口減少社会に向き合う地域社会～ 会場：明治大学アカデミーコモン3Fアカデミーホール |
| 研究研修・ 調査課題等 | 「人生100年時代の人づくり革命」 講師：高橋進（日本総合研究所理事長） |
| | 「若者たちの挑戦ー人口減少社会の地域デザイン」 パネリスト：山崎亮（Studio-L代表）、伊藤文弥（NPO理事）他 |
| | 「人生100年時代の政府の取組み」 講師：菅義偉（内閣官房長官） |
| | <p>「人生100年時代の人づくり革命」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安倍政権の取組み <ol style="list-style-type: none"> ①デフレ脱却は道半ば、だが回復はしている ②ただしデフレ脱却後も将来課題への対応が必要となる カギは「人口対策」「労働参加率向上」「生産性向上」 ・雇用情勢の改善と労働参加率の上昇は安倍政権の大きな成果 ・人材育成・働き方の方向性 労働人口減＋元気な高齢者増→多様な働き方・働き手の実現 技術革新・グローバル化＋AI・ロボット ・人生100年時代構想会議 <ol style="list-style-type: none"> ①開かれた教育機会の提供（リカレント教育・無償化） 資格取得や生涯学習の面が強調されすぎた→より職業実践的にすべき 足の裏の米つぶ（取らないと気持ち悪いが取っても食べられない） ②高等教育改革→幼児教育は非認知能力（根気強さ、意欲、自信など） 高等教育は、より実践的な力（IT等）を身に付けさせる必要あり IoT、ビッグデータ、AI、ロボットの担い手となるミドル人材が薄い →この人材の育成には①、②がカギ ③人材採用の多元化 ④社会保障制度改革 <hr/> <p>「若者たちの挑戦ー人口減少社会の地域デザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守主義社会のサービスの担い手は「地域」だった →核家族化でスキマができて、新しい共同体で補完が必要 まち協でもいいが、単なる拡大自治会ではダメ ・今の若者は感動（かっこいい、おしゃれなど）が無いと動かない →正論を言っても見た目が悪いと来てくれない ・事例：三田市有馬富士公園 市が主体で整備する区域と、市民とコラボする区域を分割 →自主的運営が定着し、行政負担削減＋市民の生きがい向上 ・貨幣資本から時間資本への発達の転換 1年で1億より、10年コツコツ1000万のほうが地域・人材が育つ ・秋田県立美術館 展示会を市民主体で企画運営 地域の高齢者のライフスタイルをリサーチして展示→1600人増 Yes, and→ハコモノ欲しいという意見も一度受け入れた上で、 どんな人に来てほしいか、といった視点で議論を重ねアイデア を進化させている ・重要なのは「人々の気持ち」「人々が動き出すきっかけ」を行政の 計画に入れ込むこと |

終 了 報 告

- ・パネルディスカッション
- ①ごきげんファーム (伊藤)
障害者による農業 (野菜生産・販売)
精神障害者が増えている→障害者の社会参加・地域復帰の受皿
- ②Co-Minkan普及実行委 (横山)
今の公民館はいつも同じ人ばかりが個人のために使っている
→様な残な人が地域のために活動できるよう、一般住民との
橋渡し役コーディネーターを育成、ハンドブックを作成
- ③Learning for all (李)
貧困世帯の児童向けの教育支援、学童施設運営
貧困家庭と子供の学力に相関あり→学習支援で貧困解消を実現
学習できる環境にない子には衣食住のサポートも提供
- ④地域づくりは仲間づくり (井上)
地方に足りないのは人材、行革甲子園 (官民連携の成果報告)
- ⑤パネルディスカッション
 - ・社会のタタミが固い。まあまあって言える人が議員になるといい
 - ・イノベ・持続可能等のキラキラ言葉で語るより、地元との関係作り
 - ・自分のやりたいことを前面に出す前に地元ニーズに応えるのが先
 - ・単発イベントだとその場限りになりがち、レストランなどでこつこつ
人数増やしていくと、無関心層にもアプローチできる
 - ・議員は市民のシンクタンクになってくれるとよい、顔つなぎ役が適任
議員の視察が事業化のきっかけになった
(一方で有名になってからの視察対応で忙殺されたことも)

「人生100年時代の政府の取組み」

- ・東京は地方出身者が多いがふるさととの関わりを維持したい方が多いとの
思いからふるさと納税制度を作った
→総務官僚は大反対だったが戦後税制に風穴をあけることができた
自治体で使い道を考えるという原点を大事にしたい
- ・安倍内閣は何をなすべきかを明確にし、政治主導で様々な取組みを
行ってきた。最優先は経済。5年5カ月で58兆円成長、251万人雇用増
(うち女性201万)、有効求人倍率は0.83→1.59、就職氷河期を脱した
- ・アベノミクスは金持ちだけのメリットか?
→株価上昇は年金運用にもプラスで国民の老後の安心につながっている
- ・成長戦略の一つにインバウンドがある
地方創生の柱に「観光」 ビザ緩和、地方銘品の免税等の政策で、
免税店10倍→国の環境整備で民間が動く好例
- ・国立公園はこれまでは保護が主だったが、魅力を高めるための開発
できるように規制緩和していきたい
- ・政府の責務は、国民の安心安全・危機管理
北朝鮮の長距離ミサイル、核兵器から国民を守る
→日米協調で圧力をかけ続けることができたのは大きな成果
支持率が10%下がるという法律を3つも作った
(特定機密保護法、平和安全法制、組織的犯罪処罰法)

| | |
|-----|------|
| 参加者 | 中田 中 |
| 氏 名 | |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 5月 14日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会 会派出張会計報告

視察先 東京都千代田区 5/10 ~ /

| | | | | |
|-----------------|--------------------|-----|------|-------------|
| 1. 運賃 (航空賃) | | | | |
| 若葉台駅 | ⇒ 御茶ノ水駅 | 円 × | 1人 = | 494 円 ※ |
| 御茶ノ水駅 | ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = | 494 円 ※ |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| 2. タクシー (レンタカー) | | | | |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| 3. 宿泊料 | | | | |
| | | 円 × | 人 = | 円 |
| 4. 土産代 | | | | |
| | | | | 円 |
| 5. 写真代 | | | | |
| | | | | 円 |
| 6. その他 (振込手数料等) | | | | |
| | 参加費 (5月11日の受講料も含む) | | | 15,000 円 |
| | | | 合 計 | 15,988 円 |
| | (うち政務活動費請求分) | | | 15,000 円) / |

※交通費は自己負担とするため、政務活動費は請求しません。

以上のとおり報告します

平成 30年 5月 14日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-3

使途項目 研究費

(領収書等貼付面)

領 収 書 No. 453

平成 30年 5月 10日

中 田 殿

¥ 15,000

但し 日本自治創造学会研究大会 参加費(資料代含む) (30.5.10~5.11)
上記の金額を領収いたしました



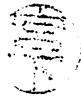


財団法人 日本自治創造学会
理事長 穂坂邦夫
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-10-3
タック馬喰町 707号
TEL.03(5623)0472・FAX 03(5623)0473

(事業)

(備考)

起風会

中田

| | | | | | | |
|----------------------|-----|------|--|----|--|--|
| 議長 | 副議長 | 事務局長 | 次長 | 係長 | 係長 | 係 |
| | | |  | |  |  |
| 備考 会 派 出 張 終 了 報 告 書 | | | | | | |

| | |
|----------------|--|
| 出張期日 | 平成30年5月11日(金) |
| 出張先 | 2018年度 日本自治創造学会 研究大会「人生100年時代の地域デザイン」～人口減少社会に向き合う地域社会～ 会場：明治大学アカデミーコモン3Fアカデミーホール |
| 研究研修・ 調査課題等 | 「これからの日本をどうする」 講師：佐々木信夫（中央大名誉教授・日本国づくり研理事長） |
| | 「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」 講師：雄谷良成（社会福祉法人佛子園理事長） |
| | 「空き家対策と活用策」 講師：伊藤明子（国土交通省住宅局長） |
| | 「人口減と対峙する地方議会」 講師：北川正恭（早稲田大マニフェスト研顧問） |
| | 「日本の目指す道」 講師：新藤義孝（元総務大臣） |
| | <p>「これからの日本をどうする」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本政治の課題は、2020以降の計画を誰も考えていないこと ・日本は行政主導の社会主義国家になりつつある ・100兆円の収入に対し160兆円の支出。地方の仕事・役割が多い ・2000年から地方分権改革を目指してきたが未だ中央政府主導（地方創生も。ふるさと創生の方がまだ地方に主体性あった） ・明治維新から150年、今必要な政策は広域行政“廃県置州” ・憲法改正は「9条、教育無償化、合区解消」ではない →道州制導入を含め、国のあり方を変えるような内容を議論すべき（1票格差、教育格差も解消できるのでは） ・人口増は必須ではない。経済成長した国は人口減少がトレンド ・世界経済は成長しているのに日本経済は成長していない ・10年度日本のインフラのほとんどが50年超え、更新に年10～20兆円かかる→早晚日本は財政デフォルトに陥るのでは？ ・今後は①歳入に合わせて支出抑制か、②増税して支出を維持か →どちらにしても選挙に負ける、現状維持になりがち ・東京一極集中の裏面「老いる東京」が日本最大のリスク |
| | <p>「空き家対策と活用策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世帯数ピークは2015年、東京は2025年。人口は減っているが小世帯化が進み、住宅は増えている ・空家対策はまちづくりに合わせて議論すべき ・H27.5施行、「空き家対策特別措置法」 こわすべきはこわす、活用できるものは活用するがキモ 活用は「住宅として」or「用途転換して」 ・既存住宅への対応 日本は新築が多く、住宅費が高い→生活圧迫、消費抑制 →中古住宅を売りやすく買いやすくする必要はある 評価制度の改善、高品質住宅の認証制度の創設 空家になる前に手を打つ必要がある ・今後の取組み 建築基準法の一部改正—用途変更しやすいように 所有者不明土地に円滑利用のための特別措置 土地登記制度、土地所有権のあり方検討 |

住宅は地域の実情に合わせ

- ①持ち家として、②賃貸として、③非住宅として活用

「日本の目指す道」

- ・日本の現状と未来を示すチャート
- ①世界の中の日本の経済的地位は低下している
欧米は2倍、中国は18倍だが、日本は△5%
- ②人口はピークを越え、急速な減少期に突入
出生率が回復できても人口増まで80年かかる
- ③広域な経済統合に向けて動いている
TPP、RCEP、APEC
- ・安倍内閣の経済財政運営は、経済再生と財政健全化
- ・2018年予算・法案の特徴は、
省庁横断的な政策+社会保障費抑制し成長望む分野に加算
- ・地方創生のテーマは、①地方に仕事を作る、②ひとの流れを作る、③結婚育児の希望実現、④まちをつくる
- ・全国の各まちで、いくら稼げばいいのか、どれだけ雇用を増やせばいいのか、リーサスを活用して把握してほしい
→現状を分析しないと、有効な打ち手は分からない

「人口減と対峙する地方議会」

- ・地方は公共団体であって政府ではない（「地方政府」という言葉は公的には使われたことはない）
- ・地方創生戦略は、中央集権時代の取組みから全く変わってない
- ・国に逆らえば厳しい仕打ちが待ってるから、地方自治体は抜本的な改革はできない→議会こそ改革の主体となれる
- ・執行部の議案を1度も否決したことの無い議会は存在価値ゼロ
→だから議会不要論が無くならない
- ・執行機関とうまくやって利益を受け取る（それも政治の一部ではあるが）議会から提案もせずチェックしてるだけ
→議会は決定機関であり自分達こと民意の代表だと認識すべき
- ・議会不要論は7割超えるが、議員不要論はもっと低い
→議会としてどうまとまるか、価値を高めるかが重要
- ・更に重要なのが議長
市長与党順送りやってるようでは改革などできない
- ・議会報告会をやってても変な奴しか来ない、と言うが、悪いのは市民ではない。つまらん会をやってる議員お側である
- ・これまでの改革は形式整備の時代だった
→これからは成果を出す時代、議員・議会の活動に期待する
- ・政務活動費・定数・報酬削減中心の議会改革から脱却すべき
- ・現実的な対応が必要なのはわかるが理想は忘れないでほしい
- ・改革は一点突破でいい。今、その時期にきている
議長の権限強化、議会事務局の増員、議会基本条例

「ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来」

- ・今20歳の人の寿命は105歳（平均寿命85歳の今より20年長生き）
→人生100年時代のための戦略変更が必要
- ・日本には、西洋的な個人中心プロセスより地域中心のプロセスがよいのでは？→ごちゃまぜ地域戦略
- ・つながり(Connected)を仏教では「縁起」という
本人の幸せは、友達に155、友達の友達に10%、友達の友達の友達に65伝わる→自分の幸せでmわりの人を幸せにする
- ・佛子園メソッド
住民、高齢者、障害者、子供がそれぞれ役割を持って施設運営に関わる→高齢者・障害者の働く場、子供の居場所、憩いの場

| | |
|-----|---|
| | ・ごちゃまぜの健康学 ①人と交わるだけで健康になる ②つきあう人やグループでその人の行動が決まる ③人とのつながりから生まれる支援（ソーシャルサポート） |
| 参加者 | 中田 中 |
| 氏名 | |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 5月 14日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会 会派出張会計報告

視察先 東京都千代田区 5/11 ～ /

| | | | |
|-----------------|-----------------|-----|--------------|
| 1. 運賃 (航空賃) | | | |
| 若葉台駅 | ⇒ 御茶ノ水駅 | 円 × | 1人 = 494 円 ※ |
| 御茶ノ水駅 | ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = 494 円 ※ |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = 円 |
| 2. タクシー (レンタカー) | | | |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = 円 |
| 3. 宿泊料 | | | |
| | | 円 × | 人 = 円 |
| 4. 土産代 | | | |
| | | | 円 |
| 5. 写真代 | | | |
| | | | 円 |
| 6. その他 (振込手数料等) | | | |
| | 参加費は5月10日分で報告済み | | 0 円 |
| | 合 計 | | 988 円 |
| | (うち政務活動費請求分) | | 0 円) |

※交通費は自己負担とするため、政務活動費は請求しません。

以上のとおり報告します

平成 30年 5月 14日

会計責任者 中田 中

| | | | | | | |
|----|-----|------|----|-----|-----|-----|
| 議員 | 副議長 | 事務局長 | 会長 | 副会長 | 副会長 | 副会長 |
| | | | | | | |

備考

会 派 出 張 終 了 報 告 書

| | |
|----------------|---|
| 出張期日 | 平成30年10月19日(金) |
| 出張先 | 地方議員研究会 議会活動集中講座in東京 (会場:TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター) |
| 研究研修・ 調査課題等 | 「質問方法スキルアップ研修(初級編)」 講師:高橋伸介(元枚方市議会副議長) |
| | 「質問方法スキルアップ研修(応用編)」 講師:高橋伸介(元枚方市議会副議長) |
| | <p>「質問方法スキルアップ研修(初級編)」</p> <p>1. 効果的な議員活動には議会ムラのルールを理解することが大事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会は議員の合意により議決する機関 → 議会全体から応援・共感されないとムシされるだけである ・ 議会で共感を得るためには ① 最上を目指さない、② 議員全員の半歩先を提案 ③ 徹底した合意形成を提案、④ 「私」を捨てる ⑤ できれば議員全員と付き合う ・ 行政が聞かれない話題(地雷)は軽い地雷なら軽傷で済むが 重い地雷を踏むと、以後軽くあしらわれるので注意 ・ 議員はバッジをつけた瞬間から”先生” → 市のことで知らないことはないが前提となる ・ 一般質問は市政全般に対して市の見解を質すこと → 国の事も市政を絡めれば質問できる(国旗も小中国旗掲揚ならOK) ・ 一般質問のポイント ① 知ってることを聞き、知らないことは聞かない (事前勉強と十分なヒアリングが必須) ② 他の議員が既にやっていることは聞かない。反感を買う ③ 議会の力関係を見無視した「合意形成なき提案」は無意味 ④ 実現できなくても議事録に残ればよい、という質問は欺瞞 → 議員の責任として一人会派であっても環境醸成の努力をすべき <hr/> <p>・ 市長も地方議員も、ひたすら住民のために働けるのは一緒 → 登り口が違うだけ、だからケンカすべきではない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要望には対応の義務が無いので、行政には痛くもかゆくもない → しかし議員の選挙対策(パフォーマンス)には有効(活用すべし) <p>2. 質問の準備の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 決算カード、財政状況資料集、類似団体比較カード → 総務省のホームページから入手する ・ 質問スタイルの分類 (レベル1) 地元・住民要望型 ← 次回選挙に直結 選挙対策として有効、手を抜かず必ずある程度盛り込む これに加え、地域活動があれば鬼に金棒 (レベル2) 財政・市政に関するチェック型 決算カードを読み切る必要がある 決算の数字はある程度調整できるので黒字達成などの説明に ごまかされないように注意が必要 予算よりも実は決算が大事 → 決算審査意見書と事務概要を熟読し座右の書とすべし 議員には決算カードが向いている、専門家である必要はない |

(レベル3) 行財政改革型

これができる行政が一目置く質問になる
 レベル2を理解した上で、行政が言いにくいことを指摘
 市長の応援質問でもよいが、共倒れのリスクもあるので、
 冷静に見極め、引くときは引く、のスタンスで

- ① 容易な質問—決算審査意見書ベースの質問
 行政チェックにもなり、議員自身の勉強にもなる
- ② 高度な質問—隠れた課題指摘などのウラの意図がある質問
 市が出したくないなどの理由があるので地雷に注意
 一般に難しいテーマなので有権者からも評価されにくい
 →首長や有権者の反応まで考慮してほどほどに

(例) 職員給与の場合

- レベル1 民間と比較し削減を求める
- レベル2 給与表の重複を指摘し見直しを求める
- レベル3 年功制から職能制に変える提案

(レベル4) 政策提案(立案)型

市民の暮らしに直接かかわる政策条例案を提出(首長の目線)
 理想ではあるが実施はなかなか難しい
 行政と調整不要な基本条例系が安全だが、議員の政策研究努力、
 行政との調整力が必要→議員としてのレベルアップ

- ・ 質問の貯金箱のススメ
 パソコンに質問ネタを格納するフォルダを作成する
- ・ 首長のタイプにより質問の仕方を変える
 優秀な首長—並の知識では太刀打ち不可、行政の不足を見つけ指摘
 善良な首長—行政に理解ある議員として質問
 政治的な首長—選挙応援する議員として質問
 ただし「駆け引きはいいが、取り引きはしてはいけない」
- ・ 議会に対する学芸会批判は一理あるが、普通の議員がガチンコで
 やっても混乱するだけで、何も得ることがない
 →批判を逆にとり、完璧なシナリオを作り「一流の舞台」へ

「質問方法スキルアップ研修(応用編)」

1. 質問の5つのステップ
 - ① 質問の目的を明確にする(戦略)
 - ② 質問の持っていく方を考える(戦術)
 - ③ 質問のシナリオ(起承転結)をつくる
 - ④ 必要な情報を集める(十分なヒアリング)
 - ⑤ 一般質問の実行(演劇と思うべし、話し方が大事)
 2秒原稿見て、4秒正面見て話す
2. 枚方市での具体例
 - ・ 革新(日教組他)が強い土地柄だが、95年自民系市長が当選
 当時枚方は福祉日本一と言われていたが、ラスパイレスも
 日本一、労使癒着で財政破綻寸前→2007まで行革に取り組む
 - ・ 非常勤職員に退職金を払う条例案の問題点を指摘
 →行政を追い込みすぎて、その後総スカンをくらう
 →どうすればよかったか?
 ① 条例化を一步前進と評価
 ② 地方自治法に基づくべきと問題点は指摘
 ③ しかし財政健全化には資すると議案には賛成
 これなら市長・行政・賛成議員を敵に回さずに済む

- ・ 右肩下がり時代には「福祉向上のための選択と集中」がカギ
 →フィジビリティマネジメント系の質問が重要
 例: 指定管理とは別視点で管理費を見直し、統廃合につなげる、市有財産を点検し、市資産を把握する
 事務概要を精査し、無駄な事務を整理する

| | |
|-----|------|
| 参加者 | 中田 中 |
| 氏名 | |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 10月 26日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会

会派出張会計報告

視察先 東京都中央区 10/19 ~ /

1. 運賃 (航空賃)

| | | | | | |
|-----|--------|-----|------|---------|---|
| 若葉台 | ⇒ 東京駅 | 円 × | 1人 = | 513 円 / | / |
| 東京 | ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = | 513 円 / | / |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |

2. タクシー (レンタカー)

| | | | |
|---|-----|-----|---|
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |

3. 宿泊料 円 × 人 = 円

4. 土産代 円

5. 写真代 円

6. その他 (振込手数料等) 参加費 10,000 円 /

合計 11,026 円 /

以上のとおり報告します

平成 30年 10月 26日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 研究研修費

A-4

(領収書等貼付面)

領 収 証

起風会 中田 中 様 30 年 10 月 19 日

★ ￥10,000

但 10/19 10:00~「質問方法スキルアップ研修 初級編」

10/19 14:00~「質問方法スキルアップ研修 応用編」

研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-5

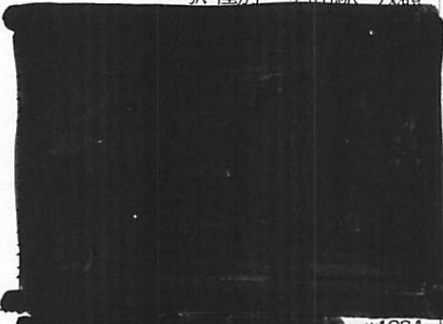
使途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

残額ご利用明細

(最新 20件)

車種別 利用駅 残額



| | | | | | | |
|------|---|------|---|------|-------|-----|
| 1019 | 入 | 若葉台 | 出 | 京王新宿 | *1284 | |
| 1019 | 入 | 東京 | 出 | 京王新宿 | *964 | 319 |
| 1019 | 入 | 東京 | 出 | 新宿 | *3965 | |
| 1019 | 入 | 新宿 | 出 | 東京 | *3771 | 194 |
| 1019 | 入 | 東京 | 出 | 新宿 | *3571 | 194 |
| 1019 | 入 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | *3258 | 319 |

18.10.19 18:05 若葉台駅 401 発行
 ・毎度ありがとうございます
 (1/1) 京王電鉄株式会社

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

| | | | | | | |
|-----|-------|---------|-----|-----|-----|-----|
| 議 長 | 副 議 長 | 争 務 局 長 | 人 員 | 保 長 | 保 長 | 保 長 |
| | | | | | | |

終 了 報 告 書

| | |
|----------------|--|
| 出張期日 | 平成30年10月25日(木) |
| 出張先 | 地方議会総合研究所 主催セミナー (会場:アットビジネスセンター池袋駅前別館) |
| 研究研修・ 調査課題等 | <p>「地方創生 成功は人にあり! ~地域創生 実践人財論~」 講師:木村俊昭(東京農業大学教授・内閣官房シニアマネージャー)</p> <hr/> <p>「地方創生 成功は人にあり! ~地域創生 実践人財論~」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会の答えは一つではない 公園の糞放置禁止も「犬は持ち帰れません」なら効果上がる ・自己分析を毎年行い、強みは磨きをかけ、弱みはどうしても必要なものだけ対策する(パートナーに頼ってもよい) →このサイクルを行わないと成長できない <p>1. まちづくりのポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ①産業・歴史・文化を徹底的に掘り起こし磨き上げる、まち育て ②子ども達に地域への愛着心を育む、ひと育て ・個別対応の状況で効果は単発に留まる。全体最適な施策実施を ・人は自ら知り気づかなければ、行動に移さない 役所言葉で説明しても市民には伝わらない、住民目線で発進を →だからこそストーリー性が大事、上から目線では人は動かない ・市で若手勉強会を作る際、20代だけでなく20~40代も集める →20代だけだと、その上の世代が反発してつぶされる ・モチベーションの高い自治体職員は 「できない理由を言わない、どうすればできるか知恵を出す」 <hr/> <p>・地域創生の好事例</p> <p>茨城県行方市なめかたファーマーズビレッジ(2015オープン) 主産業であるさつまいも農家を民間企業が支援 規格外のイモをらぼぽぼが大学いもに加工して販売 市内に工場作り雇用を生み、JA倉庫を使用しJAも儲かる 廃校活用しテーマパーク化→住民・地元企業・行政の三方よし</p> <p>鹿児島県鹿屋市やねだん 過疎高齢化集落で補助金に頼らず自力再生 ボーナスが出る集落で有名 子ども集めてさつまいもづくり→爺婆が協力 大人だけ声かけても全然集まらなかったが、子どもがやり始めた →大人が自分ごととして捉えてやり方を考える 映画「サブイボマスク」商店街振興、「古都」伝統産業、も参考に</p> <hr/> <p>・実学・現場</p> <p>産業振興の順番は①地元産業・企業、②起業、③企業誘致 多くの自治体がこの逆をやるが、これでは地元産業つぶし →誰のためのやってるのか分からない</p> <p>・基幹産業とは何か? 多くの人を雇用し、多くの税を納めている業種 付加価値額のランキング10位を調べてみるべき (必ず地元建設業が入ってる点に注目、防災にも有効)</p> |

終 了 報 告

議員が目指すのは自治体全体の産業底上げ
 (一部の方が食えるだけの産業振興策ではダメ)
 職員がやるべきは、お祭りスタッフではなく、政策立案
 ・地域創生は地方創生と異なり全てを自分のまちでやらない
 →まちのキャッチコピーとストーリー戦略
 人を動かす、マスメディアを動かす

例：利尻こんぶ「7日食べたら鏡をごらん」
 言い切っていないところが味噌
 変化ないと問合せがあれば、住所を聞いて更に送る
 とろろ昆布「となりのとろろ」
 昆布の切れ端「150歳若返るふりかけ」
 ・まちづくりは、よそ者・若者・ばか者だけじゃダメ
 →夢や希望を実現する「実践者」が必要
 ・行政の仕事の仕組みを変える
 評価の仕組みを変える
 残っている人を頑張っていると評価しない
 行政としての役割「政策立案」を評価する
 政策の実践・評価のサイクルは3年が基本
 (課題整理3ヶ月+企画立案3ヶ月+検証3ヶ月+実践6か月) x2回
 柱となる事業については5-10年は人を異動しない
 そうしないと人口減対策のような難しい問題は解決できない

- ・商品開発のコツ
 お客に「何があったらいい」「いくらなら買う」「こんな商品
 買いたい」と質問する、
 「できたら連絡するから連絡先教えて」→顧客リスト
- ・地域リーダーの資質
 どういう強みがあるか引き出す力が必要
 プロデューサー力、観察力、洞察力
- ・リーダーとなるため、何から始めるか?
 自己分析・自分史年表を作る→まち分析・まち年表を作る
 RESAS、農林業センサスでまちの事実を知る

| | |
|-----|------|
| 参加者 | 中田 中 |
| 氏名 | |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 11月 1日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会 会派出張会計報告

視察先 東京都中央区 10/25 ～ /

| | | | | |
|-----------------|--------|-----|------|------------|
| 1. 運賃 (航空賃) | | | | |
| 若葉台駅 | ⇒ 池袋駅 | 円 × | 1人 = | 473 円 / |
| 池袋駅 | ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = | 473 円 / |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| 2. タクシー (レンタカー) | | | | |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| | ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| 3. 宿泊料 | | | | |
| | | 円 × | 人 = | 円 |
| 4. 土産代 | | | | |
| | | | | 円 |
| 5. 写真代 | | | | |
| | | | | 円 |
| 6. その他 (振込手数料等) | | | | |
| | 参加費 | | | 25,000 円 / |
| 合 計 | | | | 25,946 円 / |

以上のとおり報告します

平成30年 11月 1日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-6

使途項目研究研修費

(領収書等貼付面)

領収証

起風会

中田 中 様

No.

平成30年10月25日

金額

¥25,000

内
消費税等

現金

但 10月25日セミナー受講料として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 地方議会総合研究所

係

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-7

研究
使途項目 研究 費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細

カード番号

残額履歴 最新 20件

月 日 種別 利用駅 種別 利用駅 残額

| | | | | | |
|-------|---|------|---|------|-------|
| 10/25 | 入 | 若葉台 | 出 | 京王新宿 | *1887 |
| 10/25 | 入 | 新宿 | 出 | 池袋 | *1733 |
| 10/25 | 入 | 池袋 | 出 | 新宿 | *1579 |
| 10/25 | 入 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | *1260 |

| | | | | | |
|-------|---|------|---|------|-------|
| | | | | | *2206 |
| 10/25 | 入 | 若葉台 | 出 | 京王新宿 | *1887 |
| 10/25 | 入 | 新宿 | 出 | 池袋 | *1733 |
| 10/25 | 入 | 池袋 | 出 | 新宿 | *1579 |
| 10/25 | 入 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | *1260 |

319
154
154
319

ご利用ありがとうございます。

2018.10.25 20:07

若葉台駅

多機能発行機 601号機

(事業名、使途及び

NO. 9950

京王電鉄株式会社

(備考)

会 派 出 張 終 了 報 告 書

| | |
|----------------|--|
| 出張期日 | 平成30年11月2日(金) |
| 出張先 | 地方議員研究会 10周年記念特別セミナーin東京 (会場: TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター) |
| 研究研修・ 調査課題等 | <p>「私がうなった質問はこれだ!!」 講師: 川本達志 (元廿日市市副市長)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>「元副市長が考える財政関連質問のポイント」 講師: 川本達志 (元廿日市市副市長)</p> |
| | <p>「私がうなった質問はこれだ!!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題が無いなら質問しても仕方ない ・質問3つのタイプ <ol style="list-style-type: none"> ①自己主張型—自らの意見を議事録に載せることが目的 ②課題・責任追及型—政治的イニシアチブを握ることが目的 ③政策提案型—7~8割はこれ、住民ニーズある課題について解決策を提案。執行部に予算化・条例化させるのが目的 ・県と市ではやるのが全然違う 県は社会資本の整備が主、市は住民に直接関わる部分を中心 ・製作提案型質問の構造 (≒政策立案プロセス) <ol style="list-style-type: none"> ①現状認識 (共有) <ul style="list-style-type: none"> 自ら確認し数字で示す、調べればわかる数字を聞くのは愚問 e-stat、RESAS等を活用 議員が考える課題は、概ね行政も認識している →見せ方・伝え方が大事。数字を押さえストーリーで示す 現状認識に誤解があると行政は答弁できない、議員に恥をかかせるわけにもいかないので訂正もしない 例) 「夕張市のように財政破綻するぞ」と脅しても、行政は「背景が異なるからそんなわけない」とシラケてる <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>②課題認識 (共感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これが最も重要。課題発見能力は日ごろの問題意識と学習 ・全ての分野について課題発見能力を磨く必要はない →自分のこだわりのある分野なら、問題意識も持てるし、学習もできる、情報も集まってくる ・職員の一般住民の違いは法的根拠・制度を知っていること →職員との対話で正しい知識と状況把握ができるようになる →制度や地域事情を踏まえた課題認識なら共感が得られる (首長まで共感が目標だが、まずは職員からコツコツ) ・お金がないからできない、と言わせれば、あとはお金だけ →部長・副市長・市長を動かしてお金を確保に動けばよい ・共感を得やすい環境づくりのポイント まちづくりの理念の一貫性、社会情勢・環境への正確な知識 自分以外の支援者、タイミング (国県の方針に合わせる等) 例) 公共事業削減を指摘する議員が駅前の開発要請しては× ・テーマは続ける (1回の質問で決まることはない) ・行政が一目置く議員 理路整然と論理を展開、議場内外での主張に筋が通っている 執行部の曖昧な答弁には本気で怒るが、時にユーモアもある <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>③仮説④検証⑤提案 (理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問はプレゼンである (共感と気づきが無ければ、人は動かない) 簡単な言葉で、論理的かつ魅力的に、実現可能だと思わせる |

- ・仮設は検証が必要（他自治体の受け売りはダメ）
自分の自治体の仮説を作り、その検証に他自治体事例を参照
- ・検証では「部分最適でOK」というスタンスはNG
→行政は全体最適を目指す必要があるので共感得られない
→民意の反映ではなく、民意の統合（取捨選択）が必要な時代
- ・提案時は財源を示すべき（プロの仕事なら当然）

⑥期待される効果（行動）

- ・実際に役所が動いた質問（ミニ開発団地の大型浄化槽の市移管）
住民要望聴取→一般質問①（現状認識・課題提示）→執行部調査
→住民意見交換会→一般質問②（課題認識と仮説）→執行部調整
→住民意見交換会→一般質問③（仮説検証提案）→制度導入予算措置
- ・課題責任追及型の質問
現状認識の正確さが不可欠
執行部の不知の事実でイニシアチブを握り、行政の矛盾を突く
- ・一般質問と議会の意志
議員バラバラの思いではなく、議会が機関としての政策的意志をもつ必要がある

「元副市長が考える財政関連質問のポイント」

- ・財政関連質問の視点
 1. 財政の健全性
 2. 施策の効果と改善 ←議員は主にこっち
 3. 財務・財産管理・会計処理の適切性 ←こっちは監査
- ・質問のタイミングを考慮する
6月—政策事業提案、繰越事業の進捗
9月— 同上 、予算編成方針について
決算—財政運営方針・健全化、昨年度政策事業の成果
12月—政策事業提案の確認（念押し）
3月—地方財政計画との整合性
- 1. 財政の健全性
 - ・決算カード、財政状況資料集から中長期的な財政計画の作成・公表と説明について問う
→即効性のある方策はないことの確認しかできない
中期財政推計の提出を議会から要求すべき
 - ・財政指標の見方
フロー：経常収支比率、実質公債費比率
ストック：将来負担比率、積立金/標準財政規模

・財政運営が厳しい場合

- 財政状況資料集の経常経費分析表で類団と比較し課題となる経費を特定する（人件費、物件費、公債費など）
人件費→定員適正化、事務の合理化、民営化
物件費→公共施設の合理化・広域化
公債費→公共事業投資の抑制
- ・「事業の成果指標を定め、評価し、予算査定に反映すべきと考えるが、具体的な仕組みを持っているか？」と質問すべき
→現在ほどの自治体も評価の仕組みはあるが、それが機能しているか、活用されているかを問うべき
- 例) いじめ対策の成果
会議開催はアウトプットで成果（アウトカム）ではない
最終的にいじめがどれだけ減ったかという成果を評価すべき
すぐに成果が出ない場合は、最終的な成果につながるKPIで評価する。目標値や到達度が事前にあれば、それが適正か等本質的な質問ができる
- 2. 歳入に関する質問
 - ・税金が伸びない前提で効率的な財産管理の徹底の必要性を問う
 - ・公有財産—公共施設等総合管理計画を確認し、個別計画を作る予定があるかを問う

| | |
|-------------------|---|
| | <p>(個別計画があると公共施設適正管理推進事業債が使える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物品—備品・消耗品の無駄を確認 (ペーパーレスの推進など) ・ 基金—財調の目的基金化 (持つてるだけじゃもったいない) 財調基金/標準財政規模が数%なら少なすぎ50%超は多すぎ ・ 普通財産の売却方針について問う ・ 交付税の確保見直しにつちて問う 臨済債は本質的には将来歳入の先食いである、行政も本音では「実質的交付税」ではないことは分かっている ・ 税の徴収率アップについて問う 現年分は99%超が必須、現年+滞納で98%超を目指す →トプランナー方式への対応の可否を問う 徴収率アップの具体的方策、現年分徴収の重点方策 不能欠損分の計画的適用について問う <hr/> <p>3. 歳出に関する質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務的経費の歳出増について問う 扶助費の増加は政策的に抑えることは難しいことを認識してるか 生活保護対象の高齢者の比率、後期高齢者と医療費支出にも注意 ・ 事務共同処理の対象拡大 (広域化、一部事務組合) ・ 役所事務の生産性向上 ペーパーレス、フリーアドレス、立ち会議、FAQ整備、事務分析 アウトソーシング、総合窓口、PC利用、口座振替・カード決済等 ・ 自治体戦略2040構想研究会 第一次報告 将来的な課題について問題提起しているので参考になる 「若者を吸収しながら老いていく東京圏と支え手を失う地方圏」 「標準的な人生設計の消滅による雇用・教育の機能不全」 「スポンジ化する都市と朽ち果てていくインフラ」 →こんな2040年に現在の半数の職員で対応しなければならない ・ なぜ人事院勧告に従って給与改訂するのか問う →地元中小の数字を反映していないので、改めて問うと答えに窮する場合もある |
| <p>参加者 氏名</p> | <p>中田 中</p> |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 11月 9日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会

会派出張会計報告

視察先

東京都中央区

11/2 ~ /

| | | | | |
|------------------------|-----|------|------------|---|
| 1. 運賃 (航空賃) | | | | |
| 若葉台 ⇒ 東京駅 | 円 × | 1人 = | 513 円 / | |
| 東京 ⇒ 若葉台駅 | 円 × | 1人 = | 513 円 / | |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 | |
| 2. タクシー (レンタカー) | | | | |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 | |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 | |
| 3. 宿泊料 | 円 × | 人 = | 円 | |
| 4. 土産代 | | | 円 | |
| 5. 写真代 | | | 円 | |
| 6. その他 (振込手数料等) 参加費 | | | 10,000 円 / | |
| | | 合 計 | 11,026 円 / | - |

以上のとおり報告します

平成 30年 11月・9日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-8

使途項目 費

(領収書等貼付面)

領 収 証

起風会 中田 中 様 / 30 年 11 月 2 日

★ ￥10,000

但 11/2 10:00~「私がうなった質問はこれだ!!」
11/2 14:00~「元副市長が考える財政関連質問のポイント」
研修会受講代として

上 記 正 に 領 収 いた しま した

一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-9

使途項目 費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
カード番号：[REDACTED]
残額履歴 (最新 20件)
月日 種別 利用駅 種別 利用駅 残額

[REDACTED]

| | | | | | | |
|----------|---|------|---|------|-------|-----|
| 18.11.02 | 大 | 若葉台 | 出 | 京王新宿 | *3631 | |
| 18.11.02 | 大 | 新宿 | 出 | 東京 | *3317 | 319 |
| 18.11.02 | 大 | 東京 | 出 | 新宿 | *3118 | 194 |
| 18.11.02 | 大 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | *2924 | 194 |
| 18.11.02 | 大 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | *2605 | 319 |

18.11.02 18:27 若葉台駅子401発行
・毎度ありがとうございます
(1/1) 京王電鉄株式会社

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

| | | | | | | |
|----|-----|------|----|----|----|---|
| 議長 | 副議長 | 事務局長 | 次長 | 係長 | 係長 | 係 |
| | | | | | | |

備考

会 派 出 張 終 了 報 告 書

| | |
|----------------|--|
| 出張期日 | 平成30年10月10日(水)～12日(金) |
| 出張先 | 新潟県長岡市 |
| 研究研修・ 調査課題等 | 「第80回全国都市問題会議」 |
| 終了報告 | <p>①基調講演「地方分権へのまなざし(本郷・東大教授)」では、中世国衙における土着在庁官人による分権の萌芽(こころへん私の専門分野)→近代幕藩体制における地方独自性の確立と地方での人材育成→黒船圧力等海外情勢によりやむを得ない中央集権化を迫られての中央集権化、今もそれが続いている。さらに今は外圧だけでなく人口減少にも立ち向かう内憂外患だからこそ、再度地方で人材を養うことが求められる。</p> <p>②主報告「長岡市の市民共同体(磯田・長岡市長)」は、市中心部の商業施設ドーナツ化に対して、市役所含むあらゆる公共施設を市街地中心部にまとめることで人的導線を作り出し、商業圏のV字回復を果たした。</p> <p>③一般報告「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント(前葉・津市長)」では、人口減少、スプロール化に対する公共施設統合や集約、一元化を図るにあたり、住民のコンセンサス形成のためには「叩かれる前提の提案」は勿論、事前に担当官が「地域住民一人一人と対話する」ことで信頼ある了承を得られるという実践手法。</p> <p>④一般報告「場所の時代(隈研吾・建築家)」、今回の会場でもある「アオーレ長岡」建設にあたってコンパクトシティ&ウォークャブルシティを念頭に、建物の建築ではなく街づくりとしての建築を実施。昨日入らせていただいた議場が1階かつガラス張りというのも、市民と一緒にあることの象徴、と。他、新国立競技場、豊島区役所や浅草文化観光センター等の国産材と日本独自の感性について。その後は同案件にて森・前長岡市長より発注者としての心得、森本・アートディレクターからは「アオーレ長岡での市民協働の実践」、街の延長がそのまま市役所になる市民巻き込み方法。</p> <p>⑤「市民協働による公共の拠点づくり」パネルディスカッション私自身も運営に関わっている子供食堂のように、単に公共施設を市民活動団体が運営するに留まらず、多種多様な人材が地域コミュニティを醸成し、その情報を発信展開することは「行政と団体が協力して事業を実施する」→「自助・共助・公助の役割を分担する」への移行段階である。特に各団体、市民において中核的人材「つなぎ役」を増やすことが鍵である。また、埼玉県和光市の事例は相似した稲城市にも充分応用可能。</p> |
| 参加者 | 鈴木 誠 |
| 氏 名 | 中田 中 |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 10月 15日

会 派 名 起 風 会

代表者氏名 鈴木 誠



起風会

会派出張会計報告

視察先

新潟県長岡市

10/10 ~ 10/12

1. 運賃 (乗車賃)

| | | | |
|----------------|-----------|------|-----------|
| 往復) 新百合ヶ丘⇔ 新宿駅 | 616 円 × | 1人 = | 616 円 ※ |
| 往復) 若葉台駅 ⇔ 新宿駅 | 638 円 × | 1人 = | 638 円 ✓ |
| 往復) 新宿駅 ⇔ 長岡駅 | 12070 円 × | 2人 = | 24140 円 ✓ |

※新幹線は東京駅～長岡駅間で使用

| | | | |
|---|-----|------|---|
| ⇒ | 円 × | 1人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |

2. タクシー (レンタカー)

| | | | |
|---|-----|-----|---|
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |

| | | | |
|--------|------------|------|----------|
| 3. 宿泊料 | 10,300 円 × | 2人 = | 20,600 円 |
|--------|------------|------|----------|

※10/11午前開催の会議に間に合わせるため、前日10/10に現地入りし2泊した

| | | | |
|--------|--|--|---|
| 4. 土産代 | | | 円 |
|--------|--|--|---|

| | | | |
|--------|--|--|---|
| 5. 写真代 | | | 円 |
|--------|--|--|---|

| | | | |
|------------------------|------------|----|----------|
| 6. その他 (振込手数料等) 参加費 | 10,000 円 × | 2名 | 20,000 円 |
| | (振込手数料は無し) | | |

| | | | |
|--------------|--|--|-------------|
| 合計 | | | 65,994 円 |
| (うち政務活動費請求分) | | | 65,378 円) ✓ |

※交通費は自己負担とするため、政務活動費は使用しません。

以上のとおり報告します

平成30年 10月 15日

会計責任者 中田 中

整理番号

A-10

使途項目 研究修費

(領収書等貼付面)

(事業)

(備考)

会議参加費領収書

起風会 鈴木誠 様

金 10,000 円

但、「第80回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成30年 / 〇月 / / 日

第80回全国都市問題会議実行委員会

会長 磯田 達伸



整理番号

A-11

使途項目 研究研修費

(領収書等貼付面)

(事業)

(備考)

会議参加費領収書

起風会 中田 中 様

金 10,000 円

但、「第80回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

平成30年10月//日

第80回全国都市問題会議実行委員会

会長

磯田 達伸



政務活動費領収書等添付用紙

| | |
|--------------------------------|------|
| 使途項目 <u>研究研修費</u> (領収書等貼付面) | 整理番号 |
| | A-12 |

領 収 証

2018 年 10 月 10 日

ROOM No. 303,305

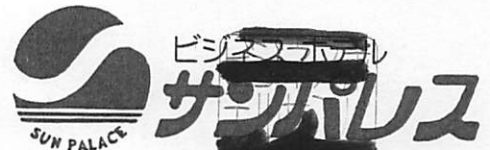
稲城中議会起風会 様

20,600-

| 品 名 | 数 | 単 価 | 金 額 |
|---------|---|-----|---------|
| A.2名,2泊 | | | 20,600- |
| | | | |
| | | | |
| 合 計 | | ¥ | 20,600- |

上記金額正に領収いたしました

- A御宿泊代
 B電話代
 C駐車代
 D洗濯代
 E食事代
 Fその他



☎940-0061 新潟県長岡市城内町1丁目2番地1
 TEL (0258) 33-0800代
 FAX (0258) 35-0616

| |
|---------------|
| (事業名、使途及び内容等) |
| (備考) |

政務活動費領収書等添付用紙

| | |
|-------------------------------|------|
| 使途項目 <u>研究修費</u> (領収書等貼付面) | 整理番号 |
| | A-13 |

領 収 証

起風会 鈴木誠様

2018年 9月19日

金24,140円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 甲 告 納
付 に つ き 波 谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
稲城長沼801 No.000005

| | |
|---------------|---------------------------------|
| (事業名、使途及び内容等) | <u>新宿 ↔ 長岡</u> <u>(270分)</u> |
| (備考) | |

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

A-14

使途項目 ICカード修費

(領収書等貼付面)

ICカード残額ご利用明細
 カード番号: ████████████████████
 残額履歴 (最新 20件)

| 月日 | 種別 | 利用駅 | 種別 | 利用駅 | 残額 |
|----------|-------|------|-------|------|------|
| 10.10.18 | 入 | 若葉台 | 出 | 京王新宿 | 2347 |
| 10.10.18 | 入 | 京王新宿 | 出 | 若葉台 | 2026 |
| 18.10.12 | 21:16 | 若葉台 | 駅子401 | 発行 | |

1010 入 若葉台 出 京王新宿 *2666 319
 1012 入 京王新宿 出 若葉台 *2026 319
 18.10.12 21:16 若葉台 駅子401 発行
 ・毎度ありがとうございます
 (1/1) 京王電鉄株式会社

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 議 | 長 | 次 | 長 | 次 | 長 | 次 | 長 |
| | | | | | | | |

会 派 出 張 終 了 報 告 書

| | |
|----------------|---|
| 出張期日 | 平成30年10月10日(水) |
| 出張先 | 新潟県長岡市 |
| 研究研修・ 調査課題等 | 「長岡市スポーツ推進条例の取り組みについて」 |
| 終了報告 | <p>1. 条例制定の経緯</p> <p>H29.9 スポーツ振興議連が申し入れ→検討委員会設置 H30.1 先進自治体への視察 H30.3 条例案を議長に提出 H30.4-5 代表者会議→全員協議会→パブリックコメント実施 H30.6 議案上程→全会一致で可決→公布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに熱心な議員が多く、ほぼ全議員がスポーツ振興議連に所属 ・H26頃から議連で検討が進められていた ・条例は総論的な理念条例とした(スピード感・スケジュールを優先) ・市の課題(議連内で課題認識を共有していた) <ol style="list-style-type: none"> ①スポーツする人、しない人の二極化 ②小中学校スポーツの指導力不足、部活協議の制限 ③スポーツ施設の拡充の必要性 |
| | <p>2. 条例の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条例のポイント <ol style="list-style-type: none"> ①理念条例 ②対象が子どものスポーツ、生涯スポーツ、競技力向上、地域スポーツスポーツによるまちづくり ③市の計画と整合をとること ・構成 <p>前文、第1条(目的) 第2条(定義) —やるスポーツ・見るスポーツ・参加するスポーツ 第3条(基本理念) <ol style="list-style-type: none"> ①生涯に渡り、あらゆる機会に、状況に応じ、スポーツできること ②子どもの成長にスポーツは重要 ③まちづくりにスポーツを活かす 第4条(市の責務) —計画的推進、連携協力 第5条(市民等の責務) —理解・関心を求める 第6条(スポーツ推進計画の策定) 計画策定を義務付け 第7条(基本方針) <ol style="list-style-type: none"> ①育てるスポーツ、②するスポーツ、③競うスポーツ ④支えるスポーツ、⑤観るスポーツ 第8条(スポーツ推進機関—行政の裁量を残し「できる規定」に附則(条例の見直し)</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・条例の期待効果 <ol style="list-style-type: none"> ①基本方針をシンプルに明示できた(議員提案の理念条例ならでは) ②市民の意識の芽生え、浸透に期待できる ・条例の課題 <p>第8条のできる規定の活用は、市の裁量次第であること スポーツに親しむ機会提供まで理念条例では担保できない</p> ・議連と会派間の関係は? 全ての会派に議連所属員がいる。会派の横ぐしを指す役割を担った議会改革の流れで設置した政策検討会議が会派横断的な議題を扱うには適していた |

| | |
|-----|---|
| | (所感) 会派横断的な交流が議連によりできていたこと、政策検討会議という 会議体が議論の場として利用できたことが背景として大きかった また任期中に形にしたいというスピード感を共有できていたことが 重要だと思う。稲城市でもオリパラが迫っているという危機感は 共有できているので、この機会をうまく活用できればと考える 行政提出議案では「理念条例」以上の内容が求められる。議員提出 であればこそ理念条例が策定できた、という感想は稲城でも見習う べきと考える |
| 参加者 | 鈴木 誠 |
| 氏名 | 中田 中 |

稲城市議会議長

北浜 けんいち 殿

上記のとおり、会派出張を終了しましたので報告します。

平成30年 10月 15日

会派名 起風会

代表者氏名 鈴木 誠



視察先

10/10 ~

1. 運賃 (乗車賃)

| | | | |
|---|-----|-----|---|
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 人 = | 円 |

※交通費は10/11~12の全国都市問題会議費用として計上済みである

2. タクシー (レンタカー)

| | | | |
|---|-----|-----|---|
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |
| ⇒ | 円 × | 台 = | 円 |

3. 宿泊料

円 × 人 = 円

※交通費は10/11~12の全国都市問題会議費用として計上済みである

4. 土産代

720 円ノ

※土産代2160円を視察に同行した議員6名で按分し、会派議員2名分を計上する

5. 写真代

円

6. その他 (振込手数料等)

円

合計 720 円ノ

以上のとおり報告します

平成 30年 10月 15日

会計責任者 中田 中

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

B-1

使途項目 調査 費

(領収書等貼付面)

NewDays

NDミニ 東本5C
電話 03-3213-1657

東京都千代田区丸の内1-9-1

2018年10月10日(水) 9時22分
POSNO.001 引当NO.00435-181059

領 収 証

起風会 中田 中 様

¥2,160-

(内消費税等 ¥160)

支払内訳
Suica ¥2,160

但し 上記正に領収いたしました

発行元引当NO.
20181010-001-00435-184058

財布等にはさんで保管頂く場合は、
印刷面を内側に折り保管して下さい

責: 3510489

(事業名、使途及び内容等)

(備考) 土産代2160円を視察同行した議員6名で割り、720円
会派議員2名分を計上する
 $= 2160 \div 6 \times 2$

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途基準科目 資料購入費

資料購入費 0-1

領 収 書

NO: 4

発行日: 平成30年4月3日 ✓

起風会 中田中 様

¥ 1,850 -

但し 書籍代として

上記の金額正に受領いたしました

久保田 崇

〒 606-0024

京都市左京区岩倉花園町96 B105

TEL: 080-6723-2582

E-mail: takashi.kubota@email.com

印 収

(事業名、使途及び内容等)

書籍購入 キャリア官僚の交渉術、霞ヶ関の底力

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 資料購入費

①-2

(領収書等貼付面)

No. 053248

起風会 **領 収 証**
中田中 様



金額 ¥16,200-

但し購読料 30/8月~31/1月として
平成 30年 9月 5日

(コンビニエンスストア払)

上記の金額正に領収致しました

印 収
紙 入

株式会社 日本教育新聞社

東京都港区虎ノ門4-8
〒105-8436 電話 03(5561)7828

扱
者
印



※上記発行先・金額の訂正は無効です。

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

D-3

使途項目 資料購入費

(領収書等貼付面)

NO E 3526954

ZENRIN

領 収 証

稲城市議会 起風会 中田 中 様

(金額の訂正は無効です)

2019 年 3 月 1 日

| 金額 | 百万 | 拾万 | 万 | 千 | 百 | 拾 | 円 |
|----|----|----|----|---|---|---|---|
| | | 7 | 16 | 5 | 2 | 4 | |

(内消費税及び地方消費税)

1,224 円

上記の金額正に領収いたしました。

印
紙

住居地図 稲城市 (70ル用) 1冊

株式会社 **ゼンリン**

| | | | |
|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| 札幌 011-271-0404 | 旭川 0166-23-2155 | 帯広 0155-21-6324 | 青森 017-777-6261 |
| 仙台 0178-43-3579 | 旭岡 019-622-7230 | 仙台 022-261-5917 | 秋田 018-862-7417 |
| 山形 023-647-7464 | 福島 024-523-4815 | 郡山 024-933-4111 | いわき 0246-26-1304 |
| 水戸 029-226-1566 | つくば 029-855-5717 | 宇都宮 028-635-7833 | 前橋 027-252-0600 |
| 大宮 048-642-4946 | 千葉 043-261-0043 | 松戸 047-344-7256 | 東京 03-5259-5020 |
| 立川 042-525-9931 | 横浜 045-478-0511 | 新潟 025-241-4555 | 長岡 0258-36-8676 |
| 甲府 055-252-9511 | 長野 026-263-3755 | 新松本 0263-28-5963 | 静岡 054-286-1417 |
| 浜松 053-422-6201 | | | |

担当者



(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

D-4

使途項目 資料購入費

(領収書等貼付面)

領収証

箱城市議会起原会
中田中様

No.

金額

¥58,968

但 自治体情報誌ディーファイル2018年度年間誌代として

2019年 3月13日 上記正に領収いたしました

内 訳

消



〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン出版株式会社

代表取締役 片岡幸三

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

稲城市議会 起風会 中田 中様

下記の通り納品致します。

¥58,968

エヌエム出版株式会社
 代表取締役 岡幸三
 〒112-0013 東京都文京区春日1-5-8
 TEL: 03-3942-2520
 FAX: 03-3942-2623

| 行 | 商 品 名 | 部 数 | 定 価 | 合計金額 |
|----|--|-----|-------|--------|
| 1 | D-file 2018年4月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 2 | D-file 2018年5月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 3 | D-file 2018年6月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 4 | D-file 2018年7月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 5 | D-file 2018年8月号 合本 | 1 | 3,024 | 3,024 |
| 6 | D-file 2018年9月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 7 | D-file 2018年10月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 8 | D-file 2018年11月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 9 | D-file 2018年12月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 10 | D-file 2019年1月号 合本 | 1 | 3,024 | 3,024 |
| 11 | D-file 2019年2月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 12 | D-file 2019年3月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 13 | Beacon Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号),Vol.77(春号) | 4 | 1,080 | 4,320 |
| 14 | | | | |
| 15 | | | | |
| 摘要 | | 合計 | 26 | 58,968 |

稲城市議会 起風会 中田 中様

下記の通り御請求申し上げます。

¥58,968

エヌエム出版株式会社
 代表取締役 岡幸三
 〒112-0013 東京都文京区春日1-5-8
 TEL: 03-3942-2520
 FAX: 03-3942-2623

| 行 | 商 品 名 | 部 数 | 定 価 | 合計金額 |
|----|--|-----|-------|--------|
| 1 | D-file 2018年4月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 2 | D-file 2018年5月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 3 | D-file 2018年6月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 4 | D-file 2018年7月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 5 | D-file 2018年8月号 合本 | 1 | 3,024 | 3,024 |
| 6 | D-file 2018年9月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 7 | D-file 2018年10月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 8 | D-file 2018年11月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 9 | D-file 2018年12月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 10 | D-file 2019年1月号 合本 | 1 | 3,024 | 3,024 |
| 11 | D-file 2019年2月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 12 | D-file 2019年3月号 上・下 | 2 | 2,430 | 4,860 |
| 13 | Beacon Vol.74(夏号),Vol.75(秋号),Vol.76(冬号),Vol.77(春号) | 4 | 1,080 | 4,320 |
| 14 | | | | |
| 15 | | | | |
| 摘要 | | 合計 | 26 | 58,968 |

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

E-1

使途項目 広報費

(領収書等貼付面)

No. 140444

領 収 書 2018年4月19日

氏名 議会起用会 鈴木誠様

金額


| | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|
| | | 4 | 7 | 1 | 0 | 0 |
|--|--|---|---|---|---|---|

 円也



但 4/21入 84 x 200枚として

上記金額正に領収致しました。

収 入
印 紙

 新百合ヶ丘

読売センター 〒206-0823
稲城市平尾2-8-7
TEL042-331-3980

担当者  

金額訂正したもの、担当者印又はサインのないものは無効です。

(事業名、使途及び内容等)

新聞折込代(平尾分)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途基準科目 広報費

広報費 E-2

領収済御請求書

下記の通り領収いたしました

No. 1

2019年2月19日

起風会

御中

鈴木 様

ADVERTISING AGENCY
株式会社宣伝館
 東京支社
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-9-10 9F
TEL.03-3517-1122(代) FAX.03-3517-1123
 大阪本社 東大阪市高井田中4-1-19 宣伝館ビル TEL.06-4308-3300
 URL <http://www.sendekan.com>

品名

B4チラシ印刷・折込の件

取引(支払)条件

下記の通り

税込合計金額

¥124,525

担当

尚、振り込み手数料はご負担願います。

| 件名 | 数量 | 単価 | 金額 | 備考 |
|--------------------------|----------|------|--------|-----------|
| <完全データご支給> | | | | |
| B4 4/4 コート53kg 印刷 袋断裁 一式 | 26,450 枚 | | 63,216 | 両面フルカラー |
| 納品代(東京都 折込センター) | 16,450 枚 | | 2,500 | |
| 納品代(東京都 ご自宅) | 10,000 枚 | | 1,500 | |
| B4新聞折込代(東京都 多摩地区) | 16,450 枚 | 2.95 | 48,528 | 定価3.40円/枚 |
| 調整値引き | 一式 | | -443 | |

今回はご注文いただき誠に有難うございます。

今回のご請求の件ですが、 **¥124,525 (税込)**

上記金額を下記の通りお振込みくださいますようお願い申し上げます。

尚、振り込み手数料はご負担願います。

領収済

口座名 株式会社 宣伝館

上記の金額を確かに領収いたしました

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 広報費

E-3

(領収書等貼付面)

No. 157356

領 収 書 2019年2月21日

氏名 起風会 鈴木誠 様

金額

| | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|---|---|
| | | | 4 | 2 | 1 | 9 | 7 |
|--|--|--|---|---|---|---|---|

 円也

但 2/23 B4x2300 として
上記金額正に領収致しました。

収 入
印 紙

YCC 新百合ヶ丘

読売センター 〒206-0823

稲城市平尾2-8-7

TEL042-331-3980

金額訂正したもの、担当者印又はサインのないものは無効です。

担当者

(事業名、使途及び内容等)

新聞折込代(平尾分)

(備考)

整理番号

使途基準科目 広報費

E-4

領収済御請求書

下記の通り領収いたしました

No. 1

2019年3月29日

起風会 御中

鈴木 様

ADVERTISING AGENCY
株式会社宣伝館
 東京支社
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-9-10 9F
TEL.03-3517-1122(代) FAX.03-3517-1123
 大阪本社 東大阪市高井田中4-1-19 宣伝館ビル TEL.06-4308-3300
 URL <http://www.sendekan.com>

| | |
|----------|--------------|
| 品名 | B4チラシ印刷・折込の件 |
| 取引(支払)条件 | 下記の通り |

| | |
|--------|----------|
| 税込合計金額 | ¥126,000 |
|--------|----------|


担当 

尚、振り込み手数料はご負担願います。

| 件名 | 数量 | 単価 | 金額 | 備考 |
|--------------------------|----------|------|--------|-----------|
| <完全データご支給> | | | | |
| B4 4/4 コート53kg 印刷 袋断裁 一式 | 26,450 枚 | | 64,500 | 両面フルカラー |
| 納品代(東京都 折込センター) | 16,450 枚 | | 2,500 | |
| 納品代(東京都 ご自宅) | 10,000 枚 | | 1,500 | |
| B4新聞折込代(東京都 多摩) | 16,450 枚 | 2.95 | 48,528 | 定価3.40円/枚 |
| 調整値引き | 一式 | | -361 | |

今回はご注文いただき誠に有難うございます。
 今回のご請求の件ですが、 **¥126,000 (税込)**
 上記金額を下記の通りお振込みくださいますよう宜しくお願い申し上げます。
 尚、振り込み手数料はご負担願います。

領収済

  
 口座名 株式会社 宣伝館

上記の金額を確かに領収いたしました

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 広報費

E-5

(領収書等貼付面)

No. 157374

領 収 書 2019年3月27日

起風会

氏名 鈴木 誠 様

金額

| | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|
| | | 7 | 8 | 1 | 9 | 7 |
|--|--|---|---|---|---|---|

 円也

但 3/29 平尾入 2300 円として
折込代
上記金額正に領収致しました。

収 入
印 紙

YC 新百合ヶ丘

読売センター 〒206-0823

稲城市平尾2-8-7

TEL042-331-3980

金額訂正したもの、担当者印又はサインのないものは無効



(事業名、使途及び内容等)

新聞折込代(平尾分)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途項目 通信費

G-1

支払証明書

| | | | | | | | | |
|----|--|--|---|---|---|---|---|---|
| 金額 | | | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 円 |
|----|--|--|---|---|---|---|---|---|

| 但し、 | 理由 |
|------------------------|--------------------|
| 通信費として | 各人の活動範囲内において支出を行い、 |
| 2,500円×12ヶ月×2人=60,000円 | 引き落とし等によるため。 |
| | |

上記金額を支払ったことを証明いたします。

平成31年3月31日

稲城市長 殿

起風会
代表 鈴木 誠



※理由欄には、領収書を徴収できない理由を附記すること。

稲城市

(事業名、使途及び内容等)

(備考)

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

H-1

使途項目 **事務** 費

(領収書等貼付面)

新製品が安い
KS ケーズデンキ

お買上げ明細

| | |
|--|----------------|
| 2018年10月16日(火) | 10時34分 |
| -<明細>----- | |
| 1 ●インクカートリッジ エプソン 4988617143517 IC4CL69 5%値引対象 2点 | ・ 持帰 ¥7,878 |
| 2 使用済みインク値引き -----* | ・ 持帰 |
| 2098010128256 インク社キ10E 8点 | ¥0 |
| ----- | |
| 明細小計 | ¥7,878 |
| B 値引 | -80 |
| 10点/合計 | ¥7,798 |
| (内消費税等 | ¥577) |

[0111143-011181413-2310005612718]

領収証

| | |
|-----------------------------|---------------|
| 2018年10月16日(火) | 10時34分 |
| 栃城市議会 起風会 様 | |
| 金額 | ¥7,798 |
| | (内消費税等 ¥577) |
| 但し、お品代として 上記金額正に領収致しました。 | |
| -<決済内訳>----- | |
| 現金 | ¥7,798 |
| | (内消費税等 ¥577) |

現金お預かり
お釣り

(事業名、使途及び

ケーズデンキ稲城若葉台店
電話番号 042-350-5011
販売担当者181413

(備考)

店コード 2200001111431
売上伝票番号 2310005612718

政務活動費領収書等添付用紙

整理番号

使途基準科目 事務費

H-2

No 006372

領 収 証

相模原市議会 起風会 殿
鈴木 誠

平成31年 3月26日

金額 ¥ 4,903

社印の無いもの及び金額の訂正したものは無効です

但し お品付として
上記の金額正に領収致しました

扱者印

| 入金内訳 | | | | | | |
|------|-----|----|----|-------|---|---|
| 現金 | 小切手 | 手形 | 相殺 | 預り消費税 | + | 円 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

東京都世田谷区用賀1-27-22

株式会社 紙 藤 原

電話 03-3700-4411 (代)

FAX 03-3700-8759

(事業名、使途及び内容等)

コピー用紙代

(備考)